

令和5年度 第1回 学校運営協議会議事録

校名	府立吹田高等学校
校長名	大川 賢司
開催日時	令和5年 6月30日(金)15:00～17:00
開催場所	府立吹田高等学校 本館2階 会議室
出席者(委員)	岡崎守夫会長、北波道子副会長、池谷綱記委員、河合克子委員、竹内必勝委員、松本光稔委員
出席者(学校)	大川賢司校長、飯田卓教頭、島田敬三事務長、加藤靖史首席、小澤靖典首席、吉川佳里奈教諭
傍聴者	0名
協議資料	令和5年度学校経営計画及び学校評価、スクールミッション・スクールポリシー案、令和5年度使用教科書
備考	

議題等(次第順)
・学校運営協議会実施要項と運営について ・令和5年度学校経営計画及び学校評価について ・スクールミッション・スクールポリシーについて ・その他
協議内容・承認事項等(意見の概要)
○令和5年度学校経営計画及び学校評価と、スクールミッション・スクールポリシーについて以下の通り質疑応答・意見交換を行った。 中期目標1. 関連 質問: 道德教育の充実とは、講義のことか。今の社会情勢の中で、高校生は成人しており重要な年代にある。我関せずの立場を取って犯罪につながるケースも多いので、道德教育を積極的に取り組んでほしい。 回答: 現在、道德教育は主に人権 HR などの中に盛り込んで行っている。具体的には、ネットモラルや就職差別に関することや命を大事にするといったことも道德教育の一環ととらえて行っている。細かいところでは、1・2年生は総合的な探究の授業でも取り組んでいる。 質問: 年間の遅刻件数の中に、延着の生徒も含まれているとはどういうことか。 回答: 延着の生徒は総遅刻数に含まれているが、指導対象には含まれていない。遅刻0の生徒が50%を超えてほしい。 質問: 情報モラルについて。ChatGPTなどの生成系AIが報道されているが、例えば授業で吹田高校ではどのように指導しているのか。 回答: 今のところ生成系AIの今後の使い方について、教育庁ではまだ検討中の段階。教員間では、頼りすぎるのは危ないという話を共有している。生徒に対しても、情報の授業で「吹田高校」についてAIに文章を生成させ、ちんぷんかん

ふんな内容であることから鵜呑みにするものではないという指導を行っている。

質問: 去年の進学率は例年に比べて良かったと聞いているが、誰一人取り残さないという意味で、進学クラス以外の学習の支援は行っているのか。

回答: 教科努力で行っているのが現状である。補習を行っても本当に来てほしい生徒はなかなか来ないという課題がある。将来の展望を持たせるために、外部機関との連携等により、刺激を与えて今のままではいけないという気持ちをもたせたい。

意見: 鳳志会プレスで毎回素晴らしい先輩方が紙面に載っているが、そういった方々が在校生に向けて話をする機会があれば良いのではないか。

回答: 年の離れた先輩を呼ぶ試みはこれまであまりしてこなかったが、先輩の話を聞くのはいい刺激になりそうである。現在も3年生の生徒向けに、最近卒業して就職・進学した先輩の話を聞く機会を設けており、それをきっかけに雰囲気の変わる生徒もいる。

意見: 人間力が育っていると感じる。吹田高校を卒業した子どもが、吹田高校を卒業したあとも高校での人間関係を続けており、それぞれ良い社会人になっている。

回答: 進学先の学校や就職先の企業からも、卒業生は頑張っているという話をよく聞く。高校の中では教師に甘えて、できるけれどやっていないのかもしれない。

質問: 全員が進学希望ではなく、勉強を嫌がる人も多いだろうが、そういう人にはどのように力をつけさせているのか。

回答: 学力とは「学ぶ力」なので、学ぶ力はどの道に進むにしても必要だと伝えている。また、資格取得の機会を与えており、今年度から1年生と2年生は全員学校で漢検を受験することになっている。そして、ビジネス文書実務検定も授業で行い、今年度7月には69名が受験する。ちょっとでもやったことがつながったという経験をさせたい。

中期目標2. 関連

質問: クロームブックを使った学習とは、具体的にはどのようなものか。

回答: オンラインで毎日という使い方をしているわけではないが、課題を受け取るツールとして幅広く使われている。具体的には情報では毎週タイピングの課題をクロームブックで課している。理科では授業の終わりに授業のふりかえりをクロームブックで作成、提出させている。

質問: 大学では現在 BYOD(bring your own device)が主流。Windows で Office を使った授業を行いたいのだが、クロームブックとはどういったもので、クロームブックのどういったところにメリットがあるか。

回答: クロームブックは、パソコンにできることはおおよそなんでもでき、価格が安いことがメリット。また、Google 関係の Office とよく似たアプリでは、Wi-fi のつながる環境であれば作業が都度保存されるので気軽に作業が行える。吹田高校では Windows が 41 台ある LAN 教室で、Office を使う授業も行っている。

意見: iPhone を使っている影響で、mac OS の物を購入する生徒が多い。大学で Windows を使って授業を行いたいのだが、ハードルがあると感じる。

回答: 吹田高校でも、中学生のころどんな端末を使っていたかアンケートを取るとクロームブックと iPad が半々くらい。

※ 令和5年度使用教科書閲覧

次回の会議日程

日時	令和5年11月17日14時30分
会場	府立吹田高等学校 本館2階 会議室